



社労士のつぶやき(96) 座ってちゃダメですか？

数年前イタリアに旅行した際、数日間ホテル近くのスーパーマーケットを利用しました。レジに並ぶと、前の客が買物カゴから商品を出してベルトコンベアに乗せていました。その先では店員がバーコードを読み込んで精算していました。「日本とは違うんだなあ」と感心しましたが、何より驚いたのは店員が座っていることでした。そんなことを思い出したのは、この5月に労働組合「首都圏青年ユニオン」の有志らが、「座ってちゃダメですかプロジェクト」を立ち上げ、厚労省に対しスーパーなどのレジに椅子の設置を求める要望を行ったという記事を読んだからです。厚労省の担当者は、「非常に大切な指摘で、重く受け止めています」とコメントしていました。

●法律では・・・

労働安全衛生規則では、「事業者は、持続的立業に従事する労働者が就業中しばしば座ることのできる機会のあるときは、当該労働者が利用することのできる椅子を備えなければならない（第615条）」と義務付けています。

首都圏青年ユニオンの若いメンバーたちは、レジ業務のため足がパンパンになって腰がこわばり、身動きできない姿勢で冷房が効きすぎてしまい、身体がガタガタになってしまうと話していました。そしてマッサージで余計なお金を使う人もいたり、片道30分の帰りの電車で座れないと「絶望的になる」と訴えていました。

●まずは悪習を買える

日本でレジの仕事が立ちっ放しなのは、「お客様が立って並んでいるのに失礼だ」という発想から始まっている、という説があります。「その通りだ」と感じるのは、私自身が「立ってお礼するのが当たり前」という「悪習」に捉われている証拠なのでしょう。イタリアのスーパーでは半袖Tシャツ姿の「いかつい兄ちゃん」がレジにでん、と座っていたので「怖いなあ」と思いながら買い物しましたが（2日目から慣れました）、これは文化の違いといった類の話ではなく、確かに「座ってて何が悪いの？」です。そのため首都圏ユニオンのメンバーたちは、経営者や店員だけでなく消費者にも理解してもらうように要望していました。

最近ではセルフレジの導入で無人化も進んでいますが、高齢者に説明する店員は立ちっ放しで、しかも「どないすんの！」のカスハラに耐えながら店内を走り回っています。また店員数が少ないコンビニでは、一人で商品の搬入から陳列・清掃・在庫管理と目まぐるしく動き、「レジお願い！」とそれこそ「座ることのできる機会」もありません。せめて椅子くらいは出したってよ、と思う今日この頃です。

社労士事務所アジュール 高龍弘

燃料カードの価格表【2024年12月分】

AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	158.0円
ハイオク	168.0円
軽油	139.0円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	160.5円
ハイオク	170.5円
軽油	134.5円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	155.8～157.8円	157.6～159.6円	156.2～158.2円
ハイオク	165.8～167.8円	167.6～169.6円	166.2～168.2円
軽油	130.8～132.8円	135.1～137.1円	133.3～135.3円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	TRUST & FLEX カード (出光)	エネクスフリート
レギュラー	155.1～157.1円	157.7～159.7円	158.3～160.3円	153.5～155.5円
ハイオク	165.1～167.1円	167.7～169.7円	168.3～170.3円	163.5～165.5円
軽油	129.0～131.0円	135.2～137.2円	130.5～132.5円	130.5～132.5円

【価格は税抜】